決議事項要約
国際理事会会議
米国カリフォルニア州サンディエゴ
2021年10月28日～31日

監査委員会

- 委員会はライオンズクラブ国際協会内部監査部門から最新報告を受けた。引き続き行動計画のフォローアップと監視をおこなう。

会則及び付則委員会

- ロザニ・ヤンケ元国際理事により提出された第三副会長選挙の不服申し立てを却下し、ファブリシオ・オリベイラを2021～2022年度の第三副会長として認めた。
- 3233-E2 地区（インド）の地区ガバナー停職処分を検討し、Sudhir Kumar Goyal を地区ガバナーの職から解任、および同地区ガバナー職の空席を言い渡した。地区には、同地区ガバナー職空席を、国際付則第9条第6項(d)に従って補充するよう指示した。
- 理事会方針書第15章 A.6.d.3.に従い、「一般財団法人日本ライオンズ」を日本の財団として承認した。

大会委員会

- 来る2022年国際大会に関して、2021～2022年度地区ガバナーおよび協議会議長の現地参加登録料を100米ドルに引き下げることを承認した。
- 2022年の国際大会にバーチャル大会の要素を含めることを承認した。国際大会の現地投票において電子プラットフォームの使用を許可する国際選挙手順を承認した。
2022年国際大会のために任命される大会アポインティおよびスタッフの日当を承認した。
- 大会の追悼式に元および現 LCIF 理事を含める理事会方針書第8章 C 項 5 の改訂を承認した。

地区及びクラブ・サービス委員会

- アラブ首長国連邦を暫定リジョンとして認め、Amer Bitar ゴーン・チェアパーソンを同地域のリジョン・チェアパーソンに任命した。
- David Wilson 元地区ガバナーを、105-N 地区（イギリス諸島）の地区ガバナーに任命した。
- ジェフリー・リーダー元国際理事を、105-N 地区（イギリス諸島）のコーディネーター・ライオンに任命した。

- 325 複合地区（ネパール）から提出された地区再編成案を承認し、2022 年国際大会の閉会時をもって当該地区を 325-C、325-D、325-E、325-F、325-G、325-H、325-I、325-J、325-K、325-L、325-M、325-N、325-P、325-R、325-S に分割するものとした。
- 322-F 地区（インド）から提出された地区再編成案を承認し、2022 年国際大会の閉会時をもって 322-F 地区と 322-H 地区に分割するものとした。
- Douglas Small 元地区ガバナーを、2021～2022 年度の残る期間、N-1 地区（カナダ）の地区ガバナーに任命した。
- 標準版地区付則を改訂し、クラブ訪問後の公式訪問報告書提出の義務をなくした。
- 地区ガバナー経費払戻し方針を改訂し、クラブ訪問がバーチャル形式で行われる場合のクラブへの郵送料を払戻し対象とした。

財務及び本部運営委員会

- 赤字となる 2021～2022 年度第 1 四半期の収支見通しを承認した。
- 執行役員旅行及び経費払い戻しに関する方針を改訂した。
- ライオンズクラブ国際協会購買方針を改訂した。
- 2022 年 6 月 30 日までの入会費およびチャーター費の免除を承認した。

リーダーシップ開発委員会

- 当初 2022 年 2 月に予定されていた 2022 年第一副地区ガバナー／地区ガバナーエレクト（FVDG/DGE）セミナー1～3 日目の内容に代わる、2021 年 FVDG/DGE バーチャルセミナー代替プランを確認した。
- モントリオール大会での FVDG/DGE セミナーの日程にもう 1 日付け加え、全二日間のセミナーとすることを承認した。
- 2021～2022 年度 FVDG/DGE セミナーにネパール語グループを追加すること、および今年のセミナーのネパール語グループリーダーについては LCIP 認定の要件を免除することを承認した。
- 2021～2022 年度ネパール語グループリーダーとしてサンジェイ・ケタン元国際理事を承認した。
- 2021～2022 年度 FVDG/DGE を対象に、DGE セミナーギフト予算の\$38,354 増額を承認した。

長期計画委員会（2021 年 8 月会議の報告）

- ライオンズ国際戦略計画の最新報告を受けた。
- 地区ガバナーの役割についての調査の最新情報を受け、現在の地区ガバナー予算割当の手法について分析内容を確認した。
- 国際理事の推薦資格を確認した。
- マーケティング・シンクタンクの設立と、クラブレベルでのマーケティングの技術、自信、能力を向上させるためのアプローチについて討議した。

- 国際協会の国際理事および第三副会長の選挙手続きについて確認した。

マーケティング・コミュニケーション委員会

- PR 補助金プログラムを検討し、この取り組みの人気の高まっていることを確認した。今年度、32 件の PR 補助金の支給が承認され、プログラムの年間予算である US\$400,000 は事実上枯渇した。
- ライオンズの活動、研修、その他の取り組みを支援するオフィススペース取得のために余剰金を利用したいというインド 318 複合地区、3232 複合地区、3233 複合地区からの要請を検討した。要請をより詳細に検討し、財務委員会にこの要請を付託するため、委員会は決定を保留した。次回理事会会議にて再検討する。
- 理事会方針書第 19 章を改訂し、廃止となったニューヴォイス会則地域委員長およびニューヴォイス会則地域スピーカーの役職を国際プロトコールから削除した。
- 以前の決定に基づきマーケティング委員会という名称に統一するため、理事会方針書第 2 章、第 16 章、第 19 章を改訂した。

会員増強委員会

- 財務委員会に費用免除期間延長の検討を要請した。
- スペシャルティクラブ・プログラムの進捗報告を確認した。
- グローバル・メンバーシップ・アプローチの初動の進捗報告と、パイロット地区における成功を示すデータを確認した。
- 会員増強補助金を検討・承認した。
- 2022～2024 年レオクラブ諮問パネルを検討・承認した。
- ムンバイ・チョイス・ライオンズクラブの会員調査の結果を確認し、架空会員を理由として同クラブの解散を勧告した。
- 理事会方針書第 22 章のいくつかの項目を確認・変更し、プログラムの改正との整合やプログラムの今後の発展の支援を図った。
- 理事会方針書第 10 章を変更し、「300D 複合地区 台湾」を加えた。

奉仕事業委員会

- 理事会方針書第 1 章を改訂し、LCI の新しい使命声明文を反映し、また一般的な用法に合わせて文言を変更することを決議した。
- 奉仕の受益者数、奉仕アクティビティの数、奉仕を報告しているクラブの割合等、アクティビティ報告に関する報告を受けた。
- 国連ライオンズ・デー、ライオンズ・キャピトル・ヒル・デーを含む、アドボカシーイベントに関する最新報告を受けた。
- LCI と糖尿病治療・教育専門家協会との覚書に関する最新報告を受けた。
- トップテン・ユースキャンプ及び交換委員長賞受賞者を選定した。
- 各種奉仕プログラム、LCI グローバル重点分野の開発、ライオンズ国際戦略計画の実施について討議した。

- 「思いやりは大切なこと」奉仕アワードについて最新報告を受けた。

テクノロジー委員会

- 委員会は、2021-2022年度の第1四半期の予測と同部門の予算との比較について議論し、約85万ドルのマイナスの差異についてさらなる説明を求めた。委員会は、こうした変動が生じた要因について、スタッフから提供された説明に満足した。
- 委員会は、プライバシー保護の取り組みと、一般データ保護規則（GDPR）に関連して講じられている継続的な措置について最新報告を受けた。委員会は、国際標準化機構（ISO）27001の採用に向けて進行中の計画に関する最新情報を確認した。委員会は、今後3～6カ月間に計画されているセキュリティとプライバシーの取り組みを承認。
- 委員会は、インフラストラクチャーの各種取り組みに関する最新報告を受けた。委員会は、コンプライアンス、ネットワークセキュリティ、インフラの改善という3つの面で進展があったことを評価した。委員会は、セキュリティ上の脅威がますます頻発していることを認識しており、これが引き続き協会の最優先事項であることを喜ばしく思っている。
- スタッフは、CRMプロジェクトの包括的な最新情報を発表した。委員会は、推奨されたアプローチ（Salesforce）に同意し、プロジェクトの6年目までにプラスの投資回収が可能であるとの報告に期待している。委員会は、スタッフが迅速に価値を提供することに尽力するということを嬉しく思い、2022年4月の理事会会議での報告を楽しみにしている。
- 委員会は、デジタルプロダクトの状況について審議した。スタッフは、メンバーが要望している新しい機能について、引き続き検討する。スタッフは、計画されているすべての製品作業がSalesforceプロジェクトの影響を受ける可能性があることを認め、今後の優先順位の変更について委員会に最新情報を提供する。
- 委員会は、デジタルプロダクトの使用と、プロダクトの導入率・利用率を上げることの重要性について包括的な議論を行った。本委員会は、デジタル製品の導入を促進するために、国際理事の支援を要請する。
- スタッフはConnectに関するデータを提示し、同アプリケーションの最近の使用傾向を紹介した。Connectのサポートのために行われた多額の投資（35万ドル）に対して、利用状況は最小限に留まっていること（過去12ヶ月で2,500セッション以下）を鑑み、委員会は、メンバーに大きな影響を与えることなくアプリケーションを廃止する方法を検討するようスタッフに助言した。
- 委員会は、スタッフからモバイルアプリケーションに関する最新情報を受け取った。現在のモバイルプラットフォームの長期的な存続が懸念されており、Androidアプリケーションについては、2022年12月以降ベンダーのサポートが受けられなくなるため、早急な対応が必要。委員会は、Salesforceプロジェクトであらゆるデバイスに対応するモバイルソリューションが実装されるまで、モバイルアプリケーションのサポートを中止することを推奨する。

- 委員会は、2022年の国際選挙のサポートについて最新報告を受けた。スタッフには、実地でのデジタル投票をサポートするためのハードウェアのニーズを引き続き評価するよう指示した。
- 委員会は奉仕事業委員会との合同会議で、アクティビティ報告とテクノロジープロダクト導入に関する最新情報を受けた。